

三角圏と傾理論

伊山 修 (名古屋大学)

1. 導入
2. 準傾対象とその変異
3. Cohen-Macaulay 表現

1. 基礎事項（傾対象、代数的三角圏、Rickard-Keller の定理、Auslander-Reiten-Serre 双対性など）と、三角圏の中でも最も簡単な Dynkin quiver の導来圏の構造論を説明する。
2. 傾対象を準傾対象まで拡張することにより、変異を用いた体系的な三角圏の構造解析が可能となる。このことを前射影多元環の導来圏を例にとって説明する。
3. (非) 可換 Gorenstein 環上の Cohen-Macaulay 加群からは、安定圏として代数的三角圏が得られる。これに関する Buchweitz, Orlov の基本定理を説明した後、傾理論を応用した Cohen-Macaulay 加群に関する研究をいくつか紹介する。